



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大 福

上場会社名 イフジ産業株式会社

コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 徳夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 原 敬

TEL 092-938-4561

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,383	△1.2	317	△18.4	329	△17.3	148	△47.7
23年3月期第2四半期	5,448	—	389	—	398	—	284	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 147百万円 (△48.0%) 23年3月期第2四半期 282百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	26.78	—
23年3月期第2四半期	51.16	—

※当社は、平成22年3月期第2四半期の連結財務諸表を作成していない為、平成23年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,856	3,062	39.0
23年3月期	7,876	3,015	38.3

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 3,062百万円 23年3月期 3,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,318	△3.6	677	△3.9	669	△6.1	305	8.0	54.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	5,563,580 株	23年3月期	5,563,580 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	7,467 株	23年3月期	7,410 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	5,556,157 株	23年3月期2Q	5,556,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 追加情報	10
3. 補足情報	11
鶏卵関連事業の販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による企業の生産活動の低下や輸出の減少、また電力供給の問題等により、厳しい状況のまま推移しました。

食品業界におきましては、雇用情勢・所得の低迷により、個人消費が低調に推移し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は鶏卵関連事業における販売数量の減少等により前年同期比1.2%減の5,383百万円となりました。

損益面につきましては、鶏卵関連事業において、東日本大震災により当社関東工場（茨城県）が被災し、全面復旧するまでに1ヶ月以上を要した影響や、鶏卵相場上昇による原料買付単価の上昇等により、営業利益は前年同期比18.4%減の317百万円、経常利益は同17.3%減の329百万円、四半期純利益は同47.7%減の148百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、東日本大震災の影響により販売数量が前年同期比8.8%減少しました。売上高につきましては、販売数量は上記のように減少したものの、鶏卵相場（東京M基準値）の平均（4～9月）が前年同期間に比べ8.8%（約16円）高く推移し、鶏卵相場に連動する液卵の販売単価が上昇したことから、液卵売上高は前年同期比2.0%増の4,460百万円となりました。また加工品売上高は同1.3%増の213百万円、その他売上高は鶏卵販売の減少等により同58.6%減の108百万円となりました。この結果、合計売上高は同1.3%減の4,782百万円となりました。

損益面につきましては、東日本大震災の影響による全国的な鶏卵の供給不足により鶏卵の需給がタイトに推移し、鶏卵相場の上昇等により原料買付単価が上昇しました。また、被災した関東工場が全面復旧するまでに1ヶ月以上を要しました。この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は前年同期比14.3%減の263百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントにおきましては、東日本大震災の影響によりカップめんや即席めんの需要の増加で主力製品である顆粒や粉末調味料の販売が増加したものの、新製品の販売が苦戦していることから売上高は前年同期比0.1%減の591百万円となりました。

損益面につきましては、穀物価格の上昇等により原材料価格が上昇していることや、工場の改修工事、品質向上のための設備投資を行ったこと等により、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は前年同期比36.2%減の49百万円となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、主に不動産賃貸業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.1%減の9百万円、セグメント利益（営業利益）は同12.4%増の5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、7,856百万円となり、前連結会計年度末に比べて20百万円減少しました。

流動資産は3,633百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加しました。主な要因は、商品及び製品の増加361百万円、原材料及び貯蔵品の増加226百万円、現金及び預金の減少173百万円、受取手形及び売掛金の減少205百万円、未収還付法人税等の減少130百万円等によるものであります。

固定資産は4,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少51百万円、機械装置及び運搬具の減少56百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、4,793百万円となり、前連結会計年度末に比べて67百万円減少しました。

流動負債は2,606百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の増加96百万円、未払法人税等の増加100百万円、支払手形及び買掛金の減少66百万円、災害損失引当金の減少63百万円等によるものであります。

固定負債は2,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少108百万円、役員退職慰労引当金の減少15百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,062百万円となり、前連結会計年度末に比べて47百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加48百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.3%から39.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、821百万円となり、前年同四半期に比べて20百万円減少しました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用された資金は、前年同四半期に比べ77百万円増加し32百万円となりました。これは主に、棚卸資産の増加601百万円、仕入債務の減少66百万円等の資金の減少が、税金等調整前四半期純利益の計上271百万円、売上債権の減少208百万円、法人税等の還付額130百万円等の資金の増加を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同四半期に比べ276百万円減少し29百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出19百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用された資金は、前年同四半期に比べ424百万円増加し111百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加100百万円、長期借入による収入100百万円、長期借入金の返済による支出211百万円、配当金の支払額99百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、平成23年8月10日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,052	878
受取手形及び売掛金	1,645	1,439
商品及び製品	317	679
仕掛品	26	40
原材料及び貯蔵品	256	482
未収還付法人税等	130	—
繰延税金資産	64	68
その他	70	58
貸倒引当金	△15	△13
流動資産合計	3,548	3,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,352	1,300
機械装置及び運搬具(純額)	473	417
土地	2,197	2,212
その他(純額)	22	21
有形固定資産合計	4,045	3,952
無形固定資産	22	18
投資その他の資産		
投資有価証券	39	38
繰延税金資産	196	181
その他	55	61
貸倒引当金	△31	△29
投資その他の資産合計	260	252
固定資産合計	4,328	4,222
資産合計	7,876	7,856

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540	473
短期借入金	1,312	1,408
未払法人税等	0	100
未払消費税等	6	3
賞与引当金	65	67
役員賞与引当金	—	11
災害損失引当金	261	197
その他	353	343
流動負債合計	2,538	2,606
固定負債		
長期借入金	1,652	1,544
役員退職慰労引当金	523	507
負ののれん	90	78
繰延税金負債	32	32
その他	22	22
固定負債合計	2,322	2,186
負債合計	4,861	4,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,216	2,265
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,034	3,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18	△19
その他の包括利益累計額合計	△18	△19
純資産合計	3,015	3,062
負債純資産合計	7,876	7,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,448	5,383
売上原価	4,314	4,338
売上総利益	1,133	1,045
販売費及び一般管理費	743	727
営業利益	389	317
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	3	3
負ののれん償却額	12	12
その他	10	9
営業外収益合計	27	26
営業外費用		
支払利息	15	14
その他	2	0
営業外費用合計	18	14
経常利益	398	329
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
受取保険金	15	—
特別利益合計	15	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	2	—
役員退職慰労引当金繰入額	16	—
災害による損失	—	57
特別損失合計	19	57
税金等調整前四半期純利益	394	271
法人税、住民税及び事業税	127	111
法人税等還付税額	△14	—
法人税等調整額	△2	11
法人税等合計	109	123
少数株主損益調整前四半期純利益	284	148
少数株主利益	—	—
四半期純利益	284	148

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	284	148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
その他の包括利益合計	△1	△1
四半期包括利益	282	147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282	147
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	394	271
減価償却費	113	127
負ののれん償却額	△12	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	11
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△63
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	33	△15
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	—
受取利息及び受取配当金	△1	△0
受取保険金	△15	—
支払利息	15	14
固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	105	208
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△117	△601
仕入債務の増減額 (△は減少)	19	△66
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△97	△2
その他	△112	△3
小計	333	△134
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△15	△14
保険金の受取額	15	—
法人税等の支払額	△289	△15
法人税等の還付額	—	130
営業活動によるキャッシュ・フロー	44	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14	△14
定期預金の払戻による収入	14	14
有形固定資産の取得による支出	△301	△19
無形固定資産の取得による支出	△3	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△0	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150	100
長期借入れによる収入	510	100
長期借入金の返済による支出	△225	△211
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△121	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	313	△111
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	51	△173
現金及び現金同等物の期首残高	781	995
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	841	821

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,845	592	5,437	10	5,448
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,845	592	5,437	10	5,448
セグメント利益	307	77	384	4	389

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	384
「その他」の区分の利益	4
四半期連結損益計算書の営業利益	389

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,782	591	5,373	9	5,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,782	591	5,373	9	5,383
セグメント利益	263	49	312	5	317

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	312
「その他」の区分の利益	5
四半期連結損益計算書の営業利益	317

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 補足情報

鶏卵関連事業の販売実績

(単位：百万円)

期別 区分	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		比較増減 (△は減)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
生液卵	3,824	79.0	3,853	80.6	29	0.8
凍結卵	548	11.3	606	12.7	58	10.6
液卵計	4,372	90.3	4,460	93.3	87	2.0
卵加工品	210	4.3	213	4.4	2	1.3
その他	262	5.4	108	2.3	△153	△58.6
合計	4,845	100.0	4,782	100.0	△63	△1.3